愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	生活		
担当者(Instructors)	柿原 聖治,白井 克尚,鈴木 直政	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業では、小学校生活科の授業や学習指導について、授業づくりの基礎を習得することをめざしている。授業形態は、実践記録の分析や模擬授業等の演習形式である。その際、授業ビデオや授業記録を印刷したプリントなどを多く用いて検討する。授業計画は、オムニバス方式（全15回）で、自然科学系（5回）と環境系（5回）と社会系（5回）の内容に関する学習指導に分かれて行う。授業を通じて、生活科授業観を深めることを考えている。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業では、小学校生活科の授業や学習指導について、授業づくりの基礎を習得することをめざしている。授業計画は、各学年の教材研究と学習指導の分析から、学習指導案を試作し、模擬授業を行うことまでを考えている。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	生活科（自然科学系）の授業づくりについて（担当：柿原聖治）	生活科（自然科学系）の授業づくりについて理解する。	□
第2回	季節に関する教材研究と学習指導の分析（担当：柿原聖治）	季節に関する教材研究と学習指導の分析を行う。	□
第3回	遊びに関する教材研究と学習指導の分析（担当：柿原聖治）	遊びに関する教材研究と学習指導の分析	□
第4回	飼育栽培に関する教材研究と学習指導の分析（担当：柿原聖治）	飼育栽培に関する教材研究と学習指導の分析を行う。	□
第5回	生活科（自然科学系）における情報機器及び教材の効果的な活用法と学習指導案の作成及び模擬授業の実施（担当：柿原聖治）	生活科（自然科学系）における情報機器及び教材の効果的な活用法と学習指導案の作成及び模擬授業を実施する。	□
第6回	生活科（環境系）の授業づくりについて（担当：鈴木直政）	生活科（環境系）の授業づくりについて理解する。	□
第7回	家庭生活に関する教材研究と学習指導の分析（担当：鈴木直政）	家庭生活に関する教材研究と学習指導の分析を行う。	□
第8回	学校生活に関する教材研究と学習指導の分析（担当：鈴木直政）	学校生活に関する教材研究と学習指導の分析を行う。	□
第9回	成長に関する教材研究と学習指導の分析（担当：鈴木直政）	成長に関する教材研究と学習指導の分析を行う。	□
第10回	生活科（環境系）における情報機器及び教材の効果的な活用法と学習指導案の作成及び模擬授業の実施（担当：鈴木直政）	生活科（環境系）における情報機器及び教材の効果的な活用法と学習指導案の作成及び模擬授業を実施する。	□
第11回	生活科（社会系）の授業づくりについて（担当：白井克尚）	生活科（社会系）の授業づくりについて理解する。	□
第12回	地域生活に関する教材研究と学習指導の分析（担当：白井克尚）	地域生活に関する教材研究と学習指導の分析を行う。	□
第13回	公共に関する教材研究と学習指導の分析（担当：白井克尚）	公共に関する教材研究と学習指導の分析を行う。	□
第14回	交流に関する教材研究と学習指導の分析（担当：白井克尚）	交流に関する教材研究と学習指導の分析を行う。	□

第15回	生活科（社会系）における情報機器及び教材の効果的な活用法と学習指導案の作成及び模擬授業の実施（担当：白井克尚）	生活科（社会系）における情報機器及び教材の効果的な活用法と学習指導案の作成及び模擬授業を実施する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・小学校生活科の学習指導要領を読み直す。（２時間程度）　・模擬授業の準備を計画的に進める。（２時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・模擬授業は、授業研究を通して感想を交流し、全体で共有する機会を持つ。　・提出された授業の振り返りは、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	・小学校生活科の目的と教材内容について説明することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	・小学校生活科の目的と教材内容について説明することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	・毎回の授業の振り返りを通して、課題について考えることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回の授業の振り返りから、授業への取り組みの様子を評価する。作成した生活科の学習指導案や模擬授業の内容から、思考力・表現力・判断力が身についたかを評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	文部科学省『小学校学習指導要領＜平成29年告示＞解説　生活』東洋館出版社	978-4491034645
2	文部科学省『小学校学習指導要領　生活（平成29年3月告示）』	
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業中に適宜資料を配付する。	
2		
3		
4		
5		